

令和 7 年度 創薬サイエンス部門研究支援
高松 正之 （大学院理学研究科）

【研究課題名】

がん標的多価粒子とアスタチン標識技術の融合による次世代核医学セラノスティクス薬剤の開発

【研究概要】

がん微小環境に高発現する線維芽細胞活性化タンパク質（FAP）を標的として、アスタチン 211 標識 FAP 阻害剤の開発を進めた。低分子リガンドやデンドリマー型分子の薬剤設計・合成、標識条件の最適化、品質評価、細胞評価を一体的に行うことで、次世代核医学セラノスティクス薬剤の基盤構築を目指した。難治性固形がんに対する高選択的な標的アルファ線治療への応用を見据え、分子の合成と生化学評価を進めた。